

チャレンジ！
野菜づくり
春取り小カブの
トンネル栽培

板木技術士事務所 板木利隆

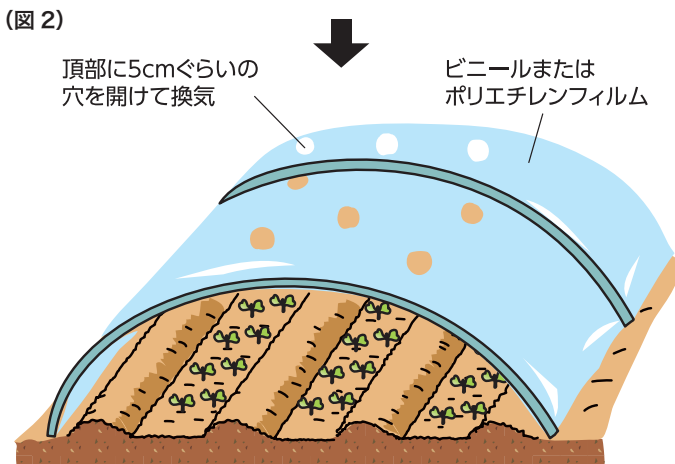
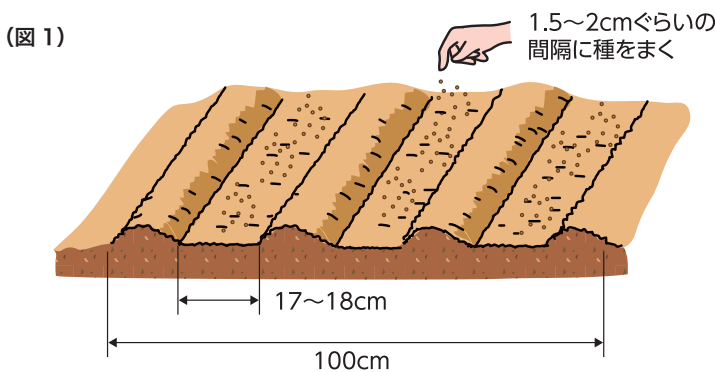
立春を過ぎ、日差しの強まりを感じ始める頃になると、今年の家
庭菜園の仕事始めです。一番先に種
まきするのにお薦めの野菜は小カ
ブです。

トンネルで被覆し、保温すれば
4〜5月に白肌できめ細かく肌触
りの良い小カブが楽しめます。

種のまきどきは2月中旬です。
種をまく前に、畑に1m幅のベッド
を作り、全面に完熟堆肥と菜種油
かす、化成肥料を均一になるよう
ばらまき、15cmほどの深さによく
耕し込みます。そして、まき溝を
くわ幅よりやや広め(17〜18cmぐら
い)に3列、溝底が平らになるよう
丁寧に作り、溝の外に出ないよう
注意しながら、シヨウロでたっぷり
灌水しておきます。発芽するまで
トンネルは除覆しないので、このこ
とを考慮して十分に灌水しましょう。
種はまき溝の中に1.5〜2cm間隔
で満遍なくまき(図1)、その上に
1cmぐらゐの厚さに覆土します。

トンネルの裾には土を掛けて密閉し、
発芽を促します。種まきしたらす
ぐ密閉してしまうので、発芽と初
期生育に必要な量を十分灌水しま
しょう。

発芽して本葉2〜3枚に育つた
ら、トンネル頂部に小穴を開けて
換気し、さらに内部が日中30℃を
超すようになればトンネルの裾を開
け、気温の上昇を防ぎます(図2)。
育つにつれて株間が込み合わない
よう間引きをし、土が乾き過ぎな
いように適宜、灌水してください。



裾には土を掛けて密閉。風に飛ばされないようにする。
3月半ばを過ぎたら開けて換気する

また、生育中、葉の緑が淡くな
りかけた頃に、溝の外側に化成肥
料をまいて追肥します。

球径が5cm内外に育ったら収穫
開始です。途中で間引いた物も上
手に利用しましょう。春の小カブ
は葉も柔らかいので、汁物の具や
漬物にしてもおいしくいただけます。
トンネル換気、除覆すると、コ
ナガ、アブラムシ、ヨトウムシの幼
虫などの被害にあいやすいので、発
生状態に注意し、適応した殺虫剤
を散布して防ぎましょう。

肥料・農薬のご紹介

タマネギのべと病に

ベトファイター

顆粒水和剤(100g入)



タマネギ栽培で特に注意するべき
なのがべと病です。



べと病は予防が大切なので、定期
的な防除が効果的です。
それでも発生する頑固なべと病に
は「ベトファイター顆粒水和剤」が
オススメです。

■主な特徴

- ① 長い効き目と高い予防効果で、持
続的にべと病の発病を抑える
- ② 病気の始めに散布しても治療的
な効果を発揮し、進行を抑える
- ③ 優れた浸達・移行性があり、散布
ムラに強い

タマネギの葉は水を弾きやすいの
で、使用する際に展着剤を合わせて
使うと効果が安定します。

※ご不明な点は、お気軽に各営農
センターまでお問い合わせください